

「まいにち笑顔 みんなが笑顔」

「百聞は一見に如かず」



今年大ヒットした映画「キングダム」を知っていますか？これは今から2200年以上前の中国で7つの国が争い、初めて1つに統一されるまでの話です。このころ日本は小さな国がたくさんあり、米作りが始まっていました。

ゲームなどにもなっている「三国志」は知っていますか。これは、キングダムの時代から450年ほど経ち、3つに分裂した中国が再び統一されるまでの話です。このころの日本はやっと小さな国々が1つにまとまり、卑弥呼といく占い師がいろいろなことを占って国の物事を決めるような時代でした。

ですから中国には進んだ文化があったので、中国からお坊さんが来たり、日本から人を遣わしたりして、中国からいろいろなことを学んできました。そうした交流をすることによって、日本も中国も発展し、今に至っています。

でも、最近は中国と日本とが決して仲がいいとは言えないニュースが多く流れていますが本当にそうでしょうか。中国に「百聞は一見に如かず」という言葉があります。聞いたことはありますか。2年生以上には昨年の全校朝会で話したこともあります。物事にはいろいろ耳に入ってくることがありますが、いい話と悪い話があった場合、大抵は悪い話の方がよく耳に入ってきて、いい話はあまり聞くことは少ないものです。特にインターネットの普及している現代は、なおのこと悪い情報の方が入りやすいと言えます。だから、たくさん聞いた話が本当なのか、実際に見てみて自分で判断することが大切です。少なくとも先日中国で会った子供たちや先生たちは、日本から来た先生たちを歓迎してくれました。おそらくそれは、こちらが仲良くなりたいと思って中国に行ったからだと思います。少しその時の映像を流します。

中国に限らず、世界にはいろいろな人がいますが、「この人は仲が悪い人」と思って会えば、相手もそう感じて喜んでくれないでしょう。でも、「あたなと仲良くなりたい」と思って会えば、必ず相手にも通じるはずです。そうして、いろいろな人と仲良くなることで、お互いが豊かになるし、争いのない世界になっていくのです。自分と違った人からこそ、学ぶべきことが多いものです。自分の世界を広げるためにも、いろいろな人と付き合っていけるといいです。

さて、その上で、人との付き合いが広がると、嫌な思いをすることもあります。その嫌な思いが、いじめであったり、法律で禁止されている行為であったりしたら、我慢する必要はありません。相手が大人であっても先生であっても同じです。信頼できる大人に相談するか、相談できるところに連絡をしてください。連絡の方法としては、Chromebookのお気に入りに「そうだんサイト」というのがあるので、そこから連絡をするか、今日、相談シートを配りますので、それを書いて郵便ポストに入れてください。皆さんの話を聞いて、必ず守ってくれます。

今日12月10日は「世界人権デー」です。誰もが自分らしく生きることが守られることを、みんなで確かめ合う日です。今年もあと3週間となりましたが、これからも七小は「みんなが笑顔」で過ごしていきましょう。